

おく よしいさ  
♪ 奥 好義 (1858-1933)

宮内省雅楽局の伶人として活躍し、洋楽の作風を身につけた明治を代表する作曲家。「君が代」の本当の作曲者でもある。

■代表曲

「勇敢なる水兵」「浜之真砂」「金剛石」「天長節」「君が代」

■こんな人物

宮内省雅楽局の伶人として洋楽の伝習を命ぜられ、アメリカ人音楽教育家メーソンにつき、管弦楽、和声の研究、唱歌の選曲などを修めた。明治14年(1881)宮中で初めて管弦楽が演奏された際には、フルート奏者として参加した。ピアノの学習も早くから行い、ドイツ人のクララ・ティーテルマンに師事した。奥が編集し、明治23年(1890)に出版された『洋琴教則本』は、我が国初のピアノ教則本である。また、様々な学校で教壇に立ち、唱歌教師としても長く活躍した。

国歌「君が代」は、当初フェントン作のものが使われていたが、現行のものは林広守の名で発表されたものである。しかし、実際に作曲したのは奥であり、そのため彼が「君が代」の本当の作曲者と言われている。

■生没年

安政5年(1858)雅楽專業の家系、元天王寺樂家秦姓林氏の一族として京都塔之段毘沙門町に生まれる。没年は昭和8年(1933)。享年77歳。

※生年については、1857年とする説がある。また、享年は数えて76歳とする説がある。

♪ 参考文献

・安田寛「奥好義の世界 CD20」(『別冊解説書 原典による近代唱歌集成—誕生・変遷・伝播— 解説・論文・索引』ビクターエンタテインメント 2000) [CD43/キタ]